

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

Enfortumab Vedotin +Pembrolizumab療法

3 週毎 コース予定

疾患名 尿路上皮癌

主治医 指導医
スケジュール

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()

		day1	day8
パドセブ(エンホルツマブ ベドチン)	1.25 mg/kg(最大125 mg)	↓	↓
ペムブロリズマブ	200 mg/body	↓	

- 【注意】 * エンホルツマブ ベドチンは体重が100 kgを超える場合は、100 kgとして投与量を計算すること
* ペムブロリズマブはインラインフィルター(0.2または0.22 μ m)を通して投与すること
* 他剤使用時はペムブロリズマブ投与前に血管確保用生食にてフラッシュすること

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

Day 1

- ① 生食 500 mLで血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② デキサメタゾン 3.3 mg + 生食 20 mL 側管静注
- ③ パドセブ + 注射用水 適量 + 5%ブドウ糖 50 mL 点滴静注30分(100 mL/時間)
* 1バイアルあたり注射用水 3.3 mLで溶解し(10 mg/mL)、必要量を抜き取る
◎メインの生食でフラッシュ
☆ 30分後より(前回投与の忍容性が良好であった場合は、15分後に短縮可)
- ④ キイトルーダ 200 mg + 生食 50 mL 点滴静注30分(100 mL/時間)

(希釈後最終濃度が1~10 mg/mLとなるよう生食液量を調節する)

Day 8

- ① 生食 500 mLで血管確保

維持(20 mL/時間)
- ② デキサメタゾン 3.3 mg + 生食 20 mL

側管静注
- ③ パドセブ + 注射用水 適量 + 5%ブドウ糖 50 mL

点滴静注30分(100 mL/時間)
- * 1バイアルあたり注射用水 3.3 mLで溶解し(10 mg/mL)、必要量を抜き取る

	コース		コース		コース		コース		コース	
	day1	day8	day1	day8	day1	day8	day1	day8	day1	day8
月 日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
パドセブ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
キイトルーダ 開始時刻	↓		↓		↓		↓		↓	
確認										

	コース		コース		コース		コース		コース	
	day1	day8	day1	day8	day1	day8	day1	day8	day1	day8
月 日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
パドセブ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
キイトルーダ 開始時刻	↓		↓		↓		↓		↓	
確認										

	コース		コース		コース		コース		コース	
	day1	day8	day1	day8	day1	day8	day1	day8	day1	day8
月 日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
パドセブ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
キイトルーダ 開始時刻	↓		↓		↓		↓		↓	
確認										